

## 1. 来歴

夕焼けの空 追って  
トンボ取りに夢中  
気づいたら誰も居なくなった  
夕暮れに独り  
みんな どこに行ったのか  
ボクは今も独り  
トンボを追いかけている  
夢にはぐれて 独り 独り

夕暮れの町 追われて  
虫ガゴでもがいている  
気づいたら誰も居なくなった  
うなされて起きて  
額の汗を拭った  
ボクは今も独り  
虫ガゴの外を見ている  
夢に沈んで 独り 独り

Aジテーションの叫び  
ジグザグデモのスクラム  
気づいたら誰も居なくなった  
パケられて独り  
みんな どこに行ったのか  
ボクは今も独り  
パキケードの中にいる  
夢にはぐれて独り 独り

ボクは今も独り  
トンボを追いかけている  
夢にはぐれて 独り 独り

夢にはぐれて 独り 独り

## 2 U~olive tour final

### DISC-2

## 6. ライラのバラード

わたしは4才だった  
誕生日のすぐ後 ハイファを追われた  
ママは8人の子供等と小さな車に乗り込んだ  
一人足りない それはわたし  
何故 引越さなきゃいけないの？  
ナツメヤシのカゴの後ろに隠れたわたしを  
引っ張り上げて ママが言った  
「ユダヤ人に殺られちゃうよ」  
パパは涙を流して  
子供達にお別れのキスをした

戦火を逃れて  
故郷を追われた  
家も街も祖国も  
なにもかも奪われた  
あれから半世紀過ぎても  
わたしは家に帰れない  
わたしの物語 だけどそれはみんなの物語  
パレスチナの 子供の物語

ライラ ライラ ~

わたしは5才だった  
夏になって やっとパパに会えた  
一文無しになり 家も店も盗られ 祖国を追われた  
斗いに敗れ 父は変わった  
「いつ パレスチナに帰るの？」  
難民となり失くした日々を語りながら  
18年後 パパは死んだ  
ハイファに帰る夢を 見続けて  
土に還るパパにオリーブの枝をそえた

戦火を逃れて  
故郷を追われた  
家も街も祖国も  
なにもかも奪われた  
あれから半世紀過ぎても  
わたしは家に帰れない  
パパの物語 だけどそれはみんなの物語  
パレスチナの 父の物語

ライラ ライラ ~

わたしは25才だった  
八月のある日 祖国への旅に出た  
一万フィートの上空から 祖国に還る為に  
幅広のレースの帽子でわたしは言った  
「乗客のみなさん ベルトをお締めください  
わたしは この機の新しい機長です  
PFLPのチェゲバラ隊が  
この飛行機の指揮をとります」  
パレスチナの海岸線に  
ハイファをはるかに見下ろして

戦火を逃れて  
故郷を追われた  
家も街も祖国も  
なにもかも奪われた  
あれから半世紀過ぎても  
世界は そ知らぬ顔して  
わたしの物語 だけどそれはみんなの物語  
パレスチナの 戦士の物語

ライラ ライラ ~

わたしは11才も待っている  
待つことは闘うこと 闘いつづけること  
二度目のハイジャックで友を失い  
わたしは 奪還された  
それからパシムと出会い リッド斗争  
パレスチナの恨みと希望を背負って  
自由の戦士たちは 闘いつづけた  
斗わなければ パレスチナの存在も  
思い出に消えて  
わたしも母になり 子供達の為に いまも闘う  
わが母のように

## 2. 独りぼっちの子守歌

きのうはもう  
届かない過去になった  
手枕のままに夢をさがす  
青春の痛みを  
確かめたくていい  
あの時 告げるべきだったのは愛  
マルクスでも哲学でもなく  
君を愛していること

きょうはもう  
ふり向かない過去になる  
寝て寝てそして涙乾かそうか  
臆病なままに  
暮らしたツケを抱いて  
あの時 欲しかったのは勇氣  
情況や他人のせいではなく  
自分らしく生きるために

あしたはもう  
今日のように過ぎていくのか  
アウトローになる夢をみようか  
ハメをはずして  
深呼吸するのもいい  
ひと夜だけ 小市民をやめて  
胸を焦がしてみるのもいいさ  
それで終わりになっても  
それで終わりにだとしても

それで終わりになっても  
それで終わりにだとしても

## 7. 君かげらふも

さよなら Sadness  
また会う日まで  
悲しみの続きは しまっておこうよ

よろしく Loneliness  
黄昏のなかで  
荒れた海原も 風いでいくんだね

青春 敷きつめた ゴンドラ  
夜空に浮かべて  
モスリンの帆と星屑の  
優しさ息 吹きかけて wow wow?Gong!

君かげらふも 君かげらふも  
胸の中を いまも 駆け抜ける 疾風が

ひさしぶりだね  
ミセス・メモリー  
夜は気まぐれに 想い出を返す

よろしく Tenderness  
あいつに ひとつ  
羽毛の枕を わけてあげてくれ

また ひとつ星が消えていく  
疲れ果てたように  
過ぎた流れに揺られて  
遠ざかる ゴンドラ wow wow?Gong!

君かげらふも 君かげらふも  
夜が明けるまでは 見送りたい キミを  
Baby Baby

## 11. 極楽鳥

Chiririririn 薔薇の花の割れる音  
Chiririririn 霧の街の凍る音  
Chiririririn 君の涙ひとしずく  
Chiririririn おれの胸につきささる

極楽鳥 極楽鳥  
薔薇の花を 一輪  
胸に咲かせ濡れた街かど

☆Ahh 月の下で  
きみはかすかにうたをくちずさむ  
最後のうたを  
割ればかりの拍手の中で

ライラ ライラ ~

戦火を逃れて  
故郷を追われた  
家も街も祖国も  
なにもかも奪われた  
あれから半世紀過ぎても  
斗いの火は消えない  
わたしの物語 だけどそれはみんなの物語  
パレスチナの 母の物語

ライラ ライラ ~

わたしはもうすぐ60才  
証言の為に日本にきました  
自由の戦士マリアンは無罪と訴える為に  
あの時代はだれも 自由の戦士だった  
それが何故 裁かれるのか  
裁判長 あなたに訴えるわたしは  
パレスチナの民衆を代表して来ました  
祖国を奪われた民には  
抵抗する権利があると  
そしてマリアンもそのひとりだと

戦火を逃れて  
故郷を追われた  
家も街も祖国も  
なにもかも奪われた  
あれから半世紀過ぎても  
斗いの権利は捨てない  
わたしの物語 だけどそれはみんなの物語  
パレスチナの 世界の友の物語

ライラ ライラ ~

## 3. 心の砦

風になびく 赤旗  
乾かない立って君の横  
ハンドマイクひとつで  
アジっていた君  
ドンキホーテの愛の言葉は  
風を裂いて  
ドンキホーテの愛の言葉は  
星に届く 熱い光線

冬のバリエードに陽  
着ぶくれたままのスクラム  
声を限り唄え  
インターナショナル  
ドンキホーテの愛の歌は  
息を弾ませ  
ドンキホーテの愛の歌は  
君に届く 熱い光線

果てしない不条理  
心に響 築いて  
密かに生きて生きて  
生きて来た君  
ドンキホーテの祭り再び  
時間を縫って  
ドンキホーテの祭り再び  
子等に届け 熱い光線

## 8. 奴と俺とおまえと

ポロいギターケースにはあいつのイニシャル  
錆びついて埃にまみれて  
いつかおまえが使うならと投げ捨てていった  
奴からはその後便りもないけれど今夜は  
やけに Baby Baby かき鳴らしたいぜ  
みんな Baby Baby おまえの為に  
あいつがいなければ知り合うことさえなかった  
おまえと俺なんだら

にがい過去は誰にでもひとつやふたつは  
あるけれど決して消せはしない  
だから奴の悪口は云わないで欲しい  
なるようにしかねない男と女は  
いつも Baby Baby おかしなもんさ  
たかが Baby Baby ひとつの恋に  
あいつがいなければ知り合うことさえなかった  
おまえと俺だったんだね

いまは Baby Baby 喋らなくてもいい  
俺も Baby Baby 同じ気持ち

胸に鳴り響くぜ あいつのくれたポロギター  
奴と俺とおまえと

## 9. いじわる猫

いじわる猫がおりました  
いじわる婆さんと一しょでした  
いじわるなコックはミルクをくれません  
いじわる横町はいつも雨  
いじわるネズミを見つけました  
いじわる婆さんは帚で追っかけて  
いじわる猫とぶつかって

いじわるな土曜日のおはなしです

Chiririririn 鈴を鳴らす黒猫が  
Chiririririn 星の空を見上げている  
Chiririririn 夜に光る金色の眼と  
Chiririririn ガスになったユニコーン

極楽鳥 極楽鳥  
少年の夢さえ  
きみにかないはしないだろう

☆Refrain

最後の歌を  
足鳴らす少年の前で  
最後の歌を  
叫びつづける少女の前で

## 12. 時代はサーカスの象ののって

どこからでも やり直しは出来るだろう  
僕は 私自身がつくりだした  
一片の物語の 主人公だから  
でも せめて きかせておくれ  
悪夢ではない ジンタのひびきを

時代はゆっくりと やってくる  
おく病もの象に またがって  
せめて その象に  
サーカスの芸当を 教えてやろう

せめて その象に  
サーカスの芸当を 教えてやろう

戦争と戦争の間に  
私たちはいる  
それを 忘れることはない  
でも せめて きかせておくれ  
悪夢ではない ジンタのひびきを

時代はゆっくりと やってくる  
おく病もの象に またがって  
せめて その象に  
サーカスの芸当を 教えてやろう

せめて その象に  
サーカスの芸当を 教えてやろう

## 4. 手紙

40年ぶり 驚かせてごめんさい  
タイムカプセルのように  
変わらない感情が  
ほとぼり出る時もあります  
あれから どのように生きていましたか  
後悔のひとつやふたつ  
こっそりしまってきたでしょうか

30年の間に いろんなことがありましたね  
大それた夢を抱いて  
夢のままに今も  
走り続ける私を笑うでしょうか  
あれから どのように生きてきましたか  
過去をなつかしむならば  
又 未来を語れますね

30年すぎて 時々 思い出ます  
こんな筈ではなかった  
時代も社会も  
幸せの基準も全て変わった  
これから どのように生きていきますか  
傷跡を見せられるならば  
又 未来を創れますね

## 5. 七月のムスターファ

記録してくれ 彼はムスターファ  
まだ14才の7月のモスル  
へりからミサイル  
向かいの家からはグレナード

撃ちまくれ 撃ちまくれ 撃ちまくれ  
Woو ムスターファ

父叔の死骸から銃を取り  
頭のつぶれたボディガードの弾丸を奪い  
血の海に横たわる父を擁に  
いま誇りだけが彼を支える  
彼も母の子  
誰も母の子

記憶してくれ 彼はムスターファ  
まだ14才の7月のモスル  
屋根も飛んだ階段に立ち 弾丸尽きた銃を構え

撃ちまくれ 撃ちまくれ 撃ちまくれ  
Woو ムスターファ

## 10. ネフードの風

つきばなしのストロボのように  
まばたきを忘れた空  
砂の焦げる匂いのなかで  
ひとすじのパイプラインが  
海へ海へととはてなくつづく  
立入禁止の砂丘の上で  
かすかにゆらくコンビナートをみた

☆ネフードの風 ネフードの風  
おれの身体はもうすでにきみのものだ

砂漠の海を駆け抜けられたら約束通りにしろよ  
アババで待つきみの身体が  
ひとすじの光となって  
海へ海へととはてなく誘う  
立入禁止の砂丘の上で  
ただ影だけを砂につきつけて

☆Refrain

破裂しそうな愛を抱えて  
心臓の高鳴る音  
100万バーレルパイプライン  
ひとすじの導火線が  
明日へ明日へとときわどくつづく  
地図にも消されたルートのおかげで  
まどろみのなかラクダの群れをみた

☆Refrain

何てひどい国 権力だけで支配される国  
Di ego, Libre dans sa tete  
檻の中でいま何を夢見てる

ボクらは見えない自由と踊り  
そして笑い唄ってる  
Di ego, Libre dans sa tete  
もしかしたらもう目を開けないのかも

## 14. オリオン頌歌第2章

偽りの静けさが  
薄闇の中を漂い続けてる  
ノブのない扉の中で 希望さえ  
閉じこめられた オレたちのことは  
ねじれた物語に化けて語り継がれていくだけさ

これがオレたちの世界 隠しきれない世界  
宿命の三つ星はオリオン  
またいたっていることだろう

指先で蟻が踊ってる  
過ぎゆくものから何も生まれやしない  
ほんのわずかな支配者の為だけに  
消されていくのはやりきれないけど  
おまえの身体に宿した未来への契りと思えば

それがオレ達の世界 ごまかしきれない世界  
エメラルドの三つ星はオリオン  
あふれ出る 報酬の血の色で

これがオレ達の世界 たおやかに揺れる世界  
輝く三つ星はオリオン  
すべては恩恵のままに

これがオレ達の世界 隠しきれない世界  
これがオレ達の世界 ごまかしきれない世界